



ほたる福祉通信

2022/07/20

013

発行：太陽と月社株式会社／特定非営利活動法人 岐阜福祉事業支援友の会 共同編集・発行
〒501-0222 岐阜県瑞穂市別府 1242-2 ほたるの里 1F phone：058-322-7788
URL：https://hotaru.fukushi.news e-mail：contact@hotaru.fukushi.news

当法人では、障がい福祉サービス事業の中でも共同生活援助、つまりグループホーム事業を中心に考えています。

それは、何よりも「住まい」であり、「生活の場」であり、住まいがなければ生活が成り立たないからです。

また同時に、かつて電鉄会社が電車線路を次々と延伸させることで、不動産業や流通業などを発展させてきたように、障がい福祉における幹の存在となるのがグループホームなのです。今回は、その原点となった『ほたるの里 瑞穂』を紹介します。

岐阜県瑞穂市が 障がい者グループホーム事業の 原点の地。

平成 28(2016) 年 5 月に当法人の最初の施設である『ほたるの里 瑞穂』が、岐阜県瑞穂市に開所しました。

瑞穂市は平成の大合併によって、本巣郡穂積町と巣南町が合併して誕生した市です。県庁所在地である岐阜市の西側にあり、岐阜市や名古屋市のベッドタウンとして発展してきた街です。市の南部には朝日大学も存在し、長く女性市長が首長を勤めたことから文教地区という風土が形成されています。

なぜ瑞穂市からスタートしたのかと言うと、当法人が開所するまで障がい福祉グループホームが存在しなかったからなのです。人口約 6 万人の市ですが「グループホームがないことにより、必ずお困りの方がおられる」その思いからの開所だったのです。

電気工事設備の会社が社員寮を兼ね、工事資材の置き場としていた重量鉄骨造りの 3F 建てのビルを借り受け、まずは 2F に食堂兼リビングと 4 室のお部屋、3F に 12 室のお部屋と計 16 室からのスタートでした。何よりも最寄り駅である JR 東海道線の穂積駅より徒歩 6 ～ 7 分

という社会生活が営めるロケーションであることも当法人の考えにマッチしていたといえます。

翌年には 1F も借り増し、4 室を増室、計 20 室としましたが、それだけでは強い需要を満たすことが出来ずに、近隣のアパートを活用しての 9 室の増室を行い、就労支援の『ほたるの仕事場 瑞穂』も開所しています。

利用者さんの目線で 必要とされる仕様、機能、運営を 生み出していく。

『ほたるの里 瑞穂』の特長といえば、当法人において最初の事業所であることから、様々なトライアル＆エラーの実験場の存在であり、障がい福祉事業への取り組み方を学んだ原点であると言えます。利用者の皆様は知적の方を中心に、一部精神の方もおられます。1F はバリアフリーの仕様となっていることから身体の方の受け入れも行っています。

障がい福祉への想いはあっても実際の事業の運営には様々な経験の積み重ねが不可欠となります。その意味からも『ほたるの里 瑞穂』において蓄積された現場でのノウハウは、他の事業所の運営にも活かされ、さらにはパートナー法人様

へのコンサルティングにも活かされています。

『ほたるの里 瑞穂』の仕様は、厚生労働省が定めるグループホームの設置基準以上に、利用者の皆様にとって、より住みやすい環境であることを念頭に定められています。この点は、本紙においてもたびたび紹介してきた当法人の考え方にも表れていますが、再度、確認の意味も込めて紹介します。

①社会生活が営めるロケーションであること。特に利用者の皆様は車の運転が出来ない方が大半であることから、最寄り駅（もしくはバス停）から遠くても徒歩 15 分程度以内であることとしています。その点、『ほたるの里 瑞穂』の立地は、理想的であるといえました。

②各部屋の広さは 8 畳以上であること。既存のマンションやアパートを活用しての場合は難しいですが、『ほたるの里 瑞穂』の場合は、重量鉄骨建築のビルをリノベーション出来たことから、最初から各部屋の間取りを 8 畳以上に設定して造ることが出来ました。

厚生労働省の設置基準では、(収納を除いて) 7.43 ㎡ (約 4.5 畳) 以上となっていますが、これではベッドを置くと、いづれもスペースがなく、車いすの方であれば、室内で自由に動けない状況となります。したがって最低でも 6 畳大、出来れば 8 畳以上と定めています。

さらに、実際に運営にあたっては、③手作りの温かい食事の提供、④お風呂はお一人入られたら、必ず一度湯を落とし浴槽内をキレイに清掃すること、⑤利用者の皆様にとって、生活の楽しみがある工夫があること、など、あくまで利用者の皆様の目線、気持ちでの運営を心がけています。

また最も大事なこととして、支援の方法、やり方に迷った時には『(利用者の皆様の) 笑顔一つ増える支援』を忘れずに実践すること、どちらが笑顔になれる支援なのかを忘れずに行うことを行動の基本としています。



■JR 東海道線・穂積駅徒歩 6 ～ 7 分の地にある『ほたるの里 瑞穂』。当法人において原点ともいえる施設。

